

no.

広報

4月1日

昭和62年

4月1日

あしや

芦屋市の人団と面積

—昭和62年3月1日推計人口—

人口総数 87,760 世帯数 31,135

男 41,391

女 46,369

面積 17.31km²発行 芦屋市役所（公聴広報課）☎31-2121
芦屋市精道町7番6号 毎月1回1日発行

新しい芦屋の創造へ挑戦

長寿社会に適合するシステム化を推進します



昭和62年第1回市議会で施政方針の発表をする松永精一郎市長

新学期を前に、学校教育の改革について、松本教育長に語つてもらいました。

今日、本市の学校教育に対する市民の批判は、まことに厳しいものがあります。これはわが子を通わせる学校が教育内容や教育方法において、よい学校であつてほしいといつて、至極当然の保護者の切実な

中学校教育

教育長
松本寿男

学校教育の改革をめざして

願いに由来しているものと思われます。こうした市民の皆さまの強い期待にこたえるため、何ものにも介入されない厳正なる姿勢で習う側の立場に立った教育内容の充実に力を入れてまいる所存でございます。

年度初頭に当たり、所信の一端を申しのべて、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

まず、市民の皆さまからは、

(四つ五つづく)

本市は、先人の英知とたゆみない営みにより、緑ゆたかな文化の香り高いまち「国際文化住宅都市・芦屋」として着実に発展してまいりました。私はこの恵まれた都市環境

市民参加と合意のまちづくり

転換期に勇気と創意をもつて

62年度施政方針の紹介

昭和62年第1回定例市議会で市と教育委員会は、新年度の施政方針を発表しました。ここに、その要旨をご紹介します。

なお、3月20日の本会議で、新年度の各会計予算が可決されました。

の遺産を引き継ぎ、芦屋浜や国鉄芦屋駅周辺を中心とする都市基盤の整備・充実をはじめ、市民のコミュニティーアクティビティーづくり、市民文化の振興など市民生活の質的向上に力を注ぎ、着実に成果をあげることができました。これは、市民の皆さまのご支援のまものと深く感謝申しあげます。

近年わが国の社会は、高齢化・国際化・情報化などの時代の潮流と人びとの価値観の多様化などさまざまな面で大

きく変貌しており、まさに転換期のなかに置かれています。このような押し寄せる社会の大きな流れの中、市

民生活の質的向上に力を注ぎ、着実に成果をあげることができました。これは、市民の皆さまのご支援のまものと深く感謝申しあげます。

近年わが国の社会は、高齢化・国際化・情報化などの時代の潮流と人びとの価値観の多様化などさまざま

な柱を中間に多角的な施策を展開してまいります。

①人間尊重の人づくりと教育文化の向上

②健康と暮らしを高める市民生活の充実

生活の充実

③生活環境と都市機能の整備

④財政運営の効率化

特に本年は、国際居住年に当たり、これから長寿社会に適合するシステムづくりに取り組むとともに、高度情報社会に備えたまちづくりの手段として、CATVをはじめとしたニューメディアの活用

の研究をしてまいります。

人と人が互いに認め合い、生涯にわたって切磋琢磨（せつさたくま）し、張り合いの研究をしてまいります。

社会の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

ラポルテボードで

市政ニュースを提供

4月1日スタート

ラポルテボードは、ラポルテ駅前広場にある高さ16メートルの排気塔を利用した縦5.6メートル、横4.4メートルの情報塔です。

このほど駅前広場の整備事業が完成し、4月1日から、午前7時30分～午後9時までの作動時間帯に、時報・天気予報・イベント情報とともに市政ニュースを提供します。運営は、芦屋都市管理会社が行います。

問い合わせ 市公聴広報課（☎31-2121内線227）



ユニセフ予防接種拡大計画協力

'87芦屋国際市民マラソン

同時開催●ファンウォーク（お花見ウォーク）

4月5日(日)11時～15時30分
芦屋中央公園（若葉町）

雨天決行

'87芦屋桜まつり

4月4日(土)14時30分～18時

芦屋中央公園特設会場

〈1部〉インターナショナル
・フェスティバル（国際民族
舞踊）〈2部〉輝け！浪速演
歌の星（新人演歌歌手登場）

問い合わせ 市生活文化課
(☎31-2121内線231)

「広報あしや」は、あなたのまちの広報委員さんの手で家庭にお配りしています。

統一地方選挙の投票日 4月12日(日) 県議会議員選挙

4月26日(日) 市長・市議会議員選挙

投票できる人

書が届いた人でも、選挙期日に資格のない人は投票できません。通知書を紛失しても投票できますので、投票所で係員に申し出ください。

前に生まれた人で、六十二年以降に本市で投票できます。なお、一月二日以前に本市に転入届けを行い、引き続き住民基本台帳に登録されている人は、本市で投票できます。

選挙人名簿(選舉時登録)の総覧

六十年十二月十二日以後に本市から県内の他市町へ転出した人、または、これから転出予定の人で、本市の選挙人名簿に登録されている人は、

市長・市議会議員選挙(月)の二日間

【市長・市議会議員選挙】

四月十九日(日)、二十日(月)

四月三日(金)、四日(土)

(月)の二日間

【市長・市議会議員選挙】

四月十九日(日)、二十日(月)

四月三日(金)、四日(土)

投票所一覧

投票区	投票所	所在地
1	精道小学校	精道町8-25
2	芦屋球場	松浜町4-4
3	竹園集会所	竹園町5-6
4	宮川幼稚園	浜町1-20
5	精道中学校	南宮町9-7
6	打出保育園	打出小槌町2
7	打出幼稚園	翌ヶ丘町9-15
8	翠ヶ丘集会所	岩園町24-3
9	岩園幼稚園	岩園町24-3
10	大原老人憩の家	大原町23-1
11	山手幼稚園	東芦屋町6-10
12	西山幼稚園	西山町22-15
14	市民会館	業平町8-24
15	精道幼稚園	川西町11-10
16	打出集会所	南宮町15-9
17	朝日ヶ丘幼稚園	朝日ヶ丘町10-3
18	潮見小学校	潮見町1-2
19	芦屋ユースホステル	奥池南町40-30
20	浜風小学校	浜風町1-1

Q 主人の転勤で、三年間にわたり現地で、引き続き市を離れ、三月末に芦屋市で発行する「引き続き内居住証明書」が必要です。

市議会議員選挙の選挙公報

立候補者の経歴や政見など

詳しく述べてください。

また、まだお持

ちでない人は、できるだけ早く交付申請をお済ませください。

十日ごろまでに各世帯に配布します。万一公報が届かないときは、市選挙管理委員会へ

を掲載した選挙公報を、四月

ときには、市選挙管理委員会へ

申してください。

立候補者の経歴や政見など

詳しく述べてください。

また、まだお持

ちでない人は、できるだけ早く交付申請をお済ませください。

今年度施政方針要旨

緑ゆたかな文化の香り高いまちづくり

～総合的な健康都市の実現をめざして～

重の
尊く
人間
文化の向上

新図書館7月にオープン完成へ

誇りある文化ゾーン完成へ

切実な願いにこたえるため教育委員会が一層努力しています。今年度は仮称「生涯教育推進懇話会」を新設し、生涯教育にかかる諸事業を総合的・体系的に推進し、市民の生涯学習活動の振興を図ります。

とりわけ、昨年発足の「生涯教育推進懇話会」を中心、生涯教育問題は、本市の重要な行政課題であり、市民の要な行政課題であり、市民の

連携を図り、全面的に支援を行います。開館を目指す準備を進めています。開館を機に、開館時間の延長と日曜日も開館してサービス向上に努め、公民館から視聴覚ライブラリーを移管し整備充実します。

新図書館は、市民の読書セ

ンターにとどまらず、近代的な内容を備えた情報センター

でございます。この問題については、別掲の教育委員会の改革方針をご覧ください。

市民文化の振興

3月に完成した新図書館は、別掲の教育委員会の改革方針を実施してまいります。今後さらに教育委員会と連携を図り、市民の支援を行います。

本年度も教育委員会の「生涯教育の体系化」と相まって、教育文化の向上に最大限の努力を払ってまいります。

また、遺族のご協力を得て、生涯教育推進懇話会を新設し、生涯教育にかかる諸事業を総合的・体

系的に推進し、市民の生涯学

習活動の振興を図ります。

今年度は仮称「生涯教育推進

懇話会」を新設し、生涯教育にかかる諸事業を総合的・体

系的に推進し、市民の生涯学

習活動の振興を図ります。

とりわけ、昨年発足の「生

涯教育推進懇話会」を中心、

生涯教育問題は、本市の重

要な行政課題であり、市民の

連携を図り、全面的に支援を行います。

この問題については、別掲の教育委員会の改革方針をご覧ください。

学校教育の改革

学校教育問題は、本市の重

要な行政課題であり、市民の

連携を図り、全面的に支援を行います。

この問題については、別掲の教育委員会の改革方針をご覧ください。

本年度も教育委員会の「生

涯教育の体系化」と相まって、

教育文化の向上に最大限の努

力を払ってまいります。

とりわけ、昨年発足の「生

涯教育推進懇話会」を中心、

生涯教育問題は、本市の重

要な行政課題であり、市民の

連携を図り、全面的に支援を行います。

この問題については、別掲の教育委員会の改革方針をご覧ください。

生涯教育問題は、本市の重

講座名	講師(敬称略)	日時・会場	定員・受講料
同和教育講座 人権尊重は 世界のねがい	山田照美(関学大教授) 小柳伸顯(地域活動家) 曹 基亨(朝鮮奨学会関西支部長) 牧口一二(障害者文化情報研究所長) 寺本 知(大阪部落解放研究教育センター館長) 谷添美也子(主婦) 市同和調整課職員	5/6~6/17 全7回 毎週水曜日 9:45~11:30 (217室)	30人 ★託児あり 無料
現代すまい考 人は家をつくり 家は人をつくる	吉野正治(京都府大教授) 杉本尚次(国立民博教授) 塩崎賢明(神大助手) 市川禮子(特養ホーム「喜楽苑」生活指導員) 北浦かほる(大阪市大講師) 竹山清明(建築家) 信長たか子(主婦) 早川和男(神大教授)	5/7~6/24 全8回 木曜日中心 9:30~11:30 (講義室ほか)	50人 ★託児あり 500円 (入館料・交通費実費)
幼児教育学級 かがやけ! 子どものせかい	黒丸正四郎(甲南女子大教授) 北村圭三(神戸女学院大助教授) 松本千草(芦屋保健所健康課長) 生野照子(大阪市大医学部医師) 川越淳子(家庭料理研究家) 末吉千恵子(武庫川女子大講師) 東山直美(親和女子大講師) 堂本洋子(西宮市立高木幼稚園園長) 城谷義子(県立幼兒教育センター副所長) 端 信行(国民民博助教授)	5/8~7/24 全12回 金曜日中心 9:45~11:30 (講義室ほか)	50人 ★託児あり 1,000円 (材料費500円)
文化人類学入門 異文化への 知的冒険	米山俊直(京大教授) 小山修三(国立民博助教授) 君島久子(国立民博教授) 石森秀三(国立民博助教授) 森田三郎(甲南大助教授) 守屋 敦(國立民博助教授) 黒田悦子(國立民博助教授) 大森康宏(國立民博助教授)	5/16~7/18 全8回 土曜日中心 10:00~12:00 (講義室ほか)	50人 500円 (入館料・交通費実費)
ボランティア 養成講座 あなたの「古い」 が見えますか	沢田清方(兵庫県社協福祉部長) 堀 雅子(特養ホーム「みぎわホーム」寮母) 岡本祐三(阪南中央病院医師) 石神文子(松原保健所精神衛生相談員) 勝部温子(北摂ふれあいデータバンク事務局長) 湯川聰子(鳴門教育大助教授) 大熊一夫(朝日新聞出版局編集委員) ほか	5/11~7/20 全10回 毎週月曜日 14:30~16:30 (講義室ほか)	30人 ★託児あり 無料 (見学交通費)
バイオテクノロジー の世界* バイテク近未来	松中昭一(神大教授) 古澤 嶽(京大助教授)	5/7~7/2 全6回 木曜日 14:00~16:00 (講義室)	50人 500円
法律セミナー まさかのときの 法律知識	大野町子(弁護士) 辻 晶子(弁護士) 北村春江(弁護士) 松尾道子(弁護士)	5/15~7/3 全8回 毎週金曜日 14:00~16:00 (講義室)	60人 ★託児あり 500円
平和を考える講座 広げよう! 平和の ネットワーク	法家敏郎(朝日新聞社会部記者) 鳩本昭三(平和アーチスト) 堀田正恭(朝日新聞企画報道室記者) 高島 博(ミニFM「ラジオVOG」主宰) 伊藤三郎(朝日新聞経済部編集委員) 北浦葉子(ネバーアゲインキャンペーン提唱者) 斎藤忠臣(朝日新聞企画報道室副室長) 河内 朗(元国連本部財務官)	5/9~8/8 全8回 土曜日中心 14:00~16:00 (講義室)	50人 ★託児あり 500円
健康講座 ストレス解消道場 (勤労者対象)	谷詠 保(神戸教育心理センター所長) 東 靖男(東心理クリニック所長) 清水勲夫(OAA事業部長) 倉堀知弘(市立芦屋病院長) 中川米造(阪大教授)	5/14~6/18 全6回 毎週木曜日 18:30~20:30 (講義室ほか)	50人 500円
レクリエーション 実技 土笛にいにしえの 口マンを聞く	西岡信雄(大阪音大教授) 赤西正己(陶芸家) 市教委社会教育文化課職員	5/15~6/19 全7回 金・土曜日 18:30~20:30 ☆5月23日(土)は14:00~16:00、16日(土)、30日(土)は昼夜ともにあり (音楽室ほか)	30人 1,000円 (材料費500円)

講師の都合で、日時等の変更があるときはご了承ください。

社会は「量」から「質」へ、生活は「物」から「心」へと大きく転換しようとしています。このような時代を迎えたある今、公民館ではより充実した生活を願い、左表の十講座を開設します。

今回は、本格的な高齢化社会の到来を目前に控えて老人福祉の現況を知る「ボランティア養成講座」、異文化理解と人間の研究をテーマとした「文化人類学入門」、さらに日々進展していく科学技術のゆくえを探る「バイオテクノロジーの世界」、国際居住年にあたり人と住まいを考える「現代すまい考」など盛りだくさんです。さあ、あなたも公民館で新たな出会いと発見を!

●受け付け開始…4月10日(金)午前10時~(定員になりしだい締め切ります)。なお、定員に余裕がある場合に限り、17日(金)から市外の人も受け付けます。

●受付会場…市民センター事務室(ただし、10日前午中のみ、市民センター4階401室)

●申し込み方法…来館または、はがき(希望講座名・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入)で。ただし、はがきの受け付けは、市内が11日(土)、市外は18日(土)からです。

●受講料…受講料は全回通しの金額です。お支払い済みの受講料はお返できません。

●問い合わせ…市民センター教育事業係(業平町8-24 ☎③4995)

講座受講生の学習を援助するため、無料で託児を行っています。

▶対象児…昭和59年9月以前に生まれた幼児(2歳半以上)

▶申し込み方法…必ず子供同伴で申し込んでください。

▶対象講座…同和教育講座・現代すまい考・幼児教育学級・ボランティア養成講座・法律セミナー・平和を考える講座。

4月10日(金)
から受け付け

合同開講式と記念講演会



▼日時…四月三十日(木)午後一時三十分(三時三十分)

▼会場…市民センター401室(託児あり・幼児室)

▼定員…百人(講座受講申込者ほか)

▼参加自由

▼記念講演

○講師…山口光朔氏(神戸女帝大学学長)

○テーマ…「ゆたかな社会の創造」

○テー...マ...「ゆたかな社会の創造」

○講師…山口光朔氏(神戸女帝大学学長)

○テー...マ...「ゆたかな社会の創造」

